

《日本の戯曲研修セミナー in 東京》

KISHIDA RIO  
岸田理生

『ソラハヌルランギット』を読む！

東京実行委員会が開催する日本の戯曲研修セミナーにおいて、3年ぶりの対面の企画として岸田理生を取り上げます。『ソラハヌルランギット』の1シーンを3人の演出家が実験的に演出・上演することにより、戯曲の魅力と可能性、またその課題を探求します。最終日は発表会と、演出家・俳優・実行委員を交えたフィードバックを公開します。

岸田理生(きしだ・りお)…劇作家、演出家、脚本家。1946年、長野県に生まれる。1974年に寺山修司主宰の「演劇実験室・天井桟敷」に入団し、寺山と共同で数多くの作品を手がける。一方早稲田大学演劇研究会の仲間と「哥以劇場」を旗揚げし、独自のオリジナル戯曲を書き始める。83年、寺山病没後、「岸田事務所+楽天団」を結成し、「糸地獄」で岸田戯曲賞を受賞(85年)。92年にはオーストラリアのバース演劇祭、アデレード演劇祭で、「糸地獄」を上演し、好評を得る。92年より「国境を越える演劇シリーズ」を開始。97年国際交流基金制作作品「リア」に劇作家として参加。2001年日本、韓国、シンガポールの俳優により初の多言語作品「ソラハヌルランギット」を劇作、演出。2003年病没。

ソラ  
ハヌル  
ランギット

戯曲

に関わる  
すべての人に  
開かれた  
セミナーです

#ソラハヌルランギットを読む

【日時】 2023/2/26(日)  
14:00 - 19:00

【会場】 下北沢・アレイホール

見学者募集!

一般社団法人 日本演出者協会

文化庁委託事業

「令和4年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」